

企業会計

病院事業

■収益的収支の状況

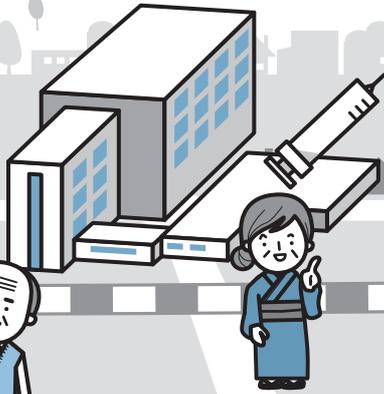
収入 208億5,715万円
 支出 218億8,323万円
 差引-10億2,608万円
 未処理欠損金
 138億656万円

■資金の状況

資金残18億9,530万円

<解説>

診療収益の増収と経費の節減に努めたものの10億2,608万円の赤字となりました。この赤字額は、平成7年に本院が現在の場所に移転して以来、最小に抑えることができました。



交通事業 (電車、バス)

■収益的収支の状況

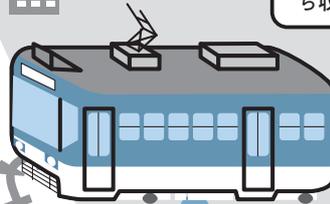
収入 61億4,351万円
 支出 79億9,127万円
 差引-18億4,776万円
 未処理欠損金
 36億7,572万円
 (資本剰余金繰入後
 未処分利益剰余金
 1億1,792万円)

■資金の状況

資金不足11億3,609万円

<解説>

輸送人員の低迷が続く中で、費用の縮減に努めたものの収支は損失となりました。なお、バス事業では事業廃止に向けた規模縮小から収入・支出が減少しています。



高速電車事業 (地下鉄)

■収益的収支の状況

収入 482億9,303万円
 支出 578億7,916万円
 差引-95億8,613万円
 未処理欠損金
 3,331億1,447万円

■資金の状況

資金不足30億1,315万円

<解説>

人件費などの節減に努めた結果、前年度に引き続き営業損益で利益を計上しましたが、地下鉄建設に伴う企業債の利息負担が大きく、収益的収支では損失となりました。



下水道事業

■収益的収支の状況

収入 472億1,689万円
 支出 472億777万円
 差引 912万円
 未処理欠損金
 240億8,137万円

■資金の状況

資金残61億5,883万円

<解説>

下水道使用料収入が伸び悩む中、経営効率化による経費節減に努めた結果、単年度黒字となりましたが、未処理欠損金は240億8,137万円と、なお厳しい財政状況にあります。



特別会計

基金・一時借入金・財産

〔基金〕

特定の目的のために財産などを維持し、または定額資金を運用するためのもの。

現在高 2,264億円 (平成15年度末現在)

〈平成15年度決算で発生した決算剰余金の積立後の金額〉

財政調整基金157億円、減債基金1,074億円、土地開発基金704億円など

〔一時借入金〕

年度途中の一時的な資金不足を補うための借り入れ

現在高 25億円 (平成16年3月末現在)

一般会計0円、特別会計5億円、企業会計20億円

〔財産〕

(平成16年3月末現在)

■公有財産：土地4,044万5千㎡、建物549万9千㎡、有価証券49億円、出資による権利53億円など

■物品 (価格100万円以上のもの)
 : 4,171点 (台)

■債権 (市から民間への貸付金など)
 : 130億円

平成15年度決算では、4つの特別会計で歳入不足が生じました。

国民健康保険会計

保険料収入の減少などによる不足

老人医療会計

国庫負担金などの一部が翌年度に交付されることによる不足

公共用地先行取得会計 砂防用地先行取得会計

市債を財源として土地を先行取得することによる年度中の財源不足

(単位：百万円)

| 区分 | 歳入 | 歳出 | 差引残額 |
|------------|---------|---------|---------|
| 土地区画整理 | 10,116 | 10,116 | 0 |
| 団地造成 | 181 | 181 | 0 |
| 駐車場 | 355 | 355 | 0 |
| 母子寡婦福祉資金貸付 | 312 | 226 | 87 |
| 国民健康保険 | 156,972 | 157,732 | - 760 |
| 老人医療 | 173,680 | 174,126 | - 446 |
| 介護保険 | 71,195 | 71,007 | 189 |
| 基金 | 1,009 | 755 | 253 |
| 公共用地先行取得 | 340 | 1,615 | - 1,274 |
| 砂防用地先行取得 | 839 | 844 | - 5 |
| 交通災害共済 | 305 | 133 | 172 |
| 公債 | 386,486 | 386,486 | 0 |

市の財政状況をより詳しく知りたい方のために
 〈ホームページ〉

「札幌市の財政」【<http://www.city.sapporo.jp/zaisei/kohyo/>】

「さっぽろ市税のホームページ」【<http://www.city.sapporo.jp/citytax/>】